

5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

平成29年度 上市高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動
重点課題	教科指導の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業検討会を適宜実施して、生活実態調査結果の分析などを通して、生徒理解を深めるとともに、教科の指導法や評価法等を研究している。</li> <li>・各教科で学習指導法や評価の仕方等を記載したシラバスを生徒に配布している。しかし、生徒は分野・科目選択の資料として利用しているが、学習の指針として、十分に活用するに至っていない。</li> </ul>
達成目標	積極的に互見授業を行い、授業改善の充実を図る。
	1学期と2学期に互見授業期間（2週間）を設定し、各学期1人2回以上の互見授業を行う。その後各教科で授業検討会を実施し研修する。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導力の改善を目指す授業検討会を開き、効果的な指導法や生徒の学習成果を測る評価法を研究する。（継続）</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を充実させる。</li> <li>・教科指導はシラバスに基づき実施する。その際に、授業と家庭学習（課題や宿題の質と量に配慮）の内容を明確に位置づける。</li> <li>・授業に対する生徒アンケートを分析して、教科指導法の工夫に役立てる。</li> </ul>

平成29年度 上市高等学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	学校生活
重点課題	基本的な生活習慣の確立 学校生活および社会生活への適応
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「遅刻をしない」「身なりを正す」「マナーを守り公共心を身につける」を指導重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。</li> <li>・平成28年度の生徒1人あたりの年間遅刻平均回数は2.2回であり、横ばいの傾向にある。年間の総遅刻回数は1000回を超えており、継続した指導が必要である。</li> <li>・携帯電話・スマートフォンの使用違反者数は、年間延べ数でH28年度213件、H27年度135件、H26年度240件であり、校内での使用についてルーズな状況にある。授業中の使用や、ネットパトロール指導は、減少してきたものの指導方法の改善が必要である。</li> </ul>
達成目標	①一人あたりの年間遅刻回数の減少
	前年比20%の減少
達成目標	②携帯スマートフォンの使用ルール違反者（校内での使用及びネットパトロール指導）の減少
	前年比20%の減少
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の多い生徒に対し、担任、学年、生徒指導部が連携して問題状況の把握と問題解決に努める。また、累積回数により特別指導を実施する。</li> <li>・進路指導と絡めて、社会人としての在り方を考えさせることにより、生徒自身の自覚を促す。</li> <li>・全教職員の共通理解を図りながら、統一した指導を行う。</li> <li>・違反した生徒はその都度家庭に連絡し、学校の指導方針を理解してもらい協力を得る。違反累積回数により、特別指導を実施する。</li> <li>・ネットトラブルに関する最新の情報を生徒、保護者に提供し、ネット使用に関する意識の向上を図る。</li> </ul>

平成29年度 上市高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援		
重点課題	生徒の主体性を引き出すための情報提供と進路指導		
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路を決めかねている生徒や、明確な進路目標を持っていても自主的な学習行動に至らない生徒が見られる。</li> <li>県内外進路研修、進路体験講座など多くの進路学習が行われているが、生徒は受動的であり、個々の活動を系統的に生かし、進路意識を高めていくことが苦手である。</li> </ul>		
達成目標	①外部模擬試験や校内課題テスト等の結果を精査し個々の進路指導に反映させる。	②学年末までに2年次生徒全員の進路目標を決定させる。	③生徒の進路希望の実現
	全ての課題テスト・模擬試験を対象として実施する。事前・事後指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学希望者は具体的な学校名が挙がる。</li> <li>就職希望者は就職への意識が固まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学希望生徒 第一志望校合格率 80%以上</li> <li>就職希望生徒 就職内定率 100%</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路体験講座などでの上級学校の講義を通じて、将来像の姿をイメージさせる。</li> <li>「県内外進路研修」や「インターンシップ」、「卒業生に聴く会」を通じて上級学校や職場の雰囲気に触れさせ、自己理解の深化と進路・職業意識の向上を図る。</li> <li>生徒の多様な進路希望に対応するため、入試動向や求人状況の研究を深め、基礎学力の定着や資格取得ができるように面接指導の充実を図る。</li> <li>特別授業や補習を綿密に計画し、個々の生徒の目標達成に必要な基礎学力の向上を図る。</li> <li>外部模擬試験や校内課題テスト等の成績データを精査・検討し、成績の内容などをHRや保護者会などで説明し、進路指導に生かす。</li> </ul>		

平成29年度 上市高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動	
重点課題	学校行事の充実と積極的な参加 部活動やボランティア活動、異年齢交流を通しての学校生活の充実	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部は活発だが、企画・運営に対する一般生徒の意識はそれほど高くない。</li> <li>行事に参加はするものの、自分の役割を深く実感できない生徒が多く、満足感を得られていない一つの理由になっている。各種行事に対する満足度は72%である。</li> <li>部登録はしているが活動していない生徒や、安易に退部したりする生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の73%である。</li> <li>ボランティア活動に興味を持つ生徒が多い。</li> </ul>	
達成目標	① 行事への主体的参加率	② 部活動継続率
	80%以上	75%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会及び各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。</li> <li>学園祭を始め、各行事には準備、当日を通して一人一役を目指し、全員参加とする。</li> <li>部活動の必要性や魅力を知らせ、体力や技術、意識の向上とともに、人間的な成長と個性の伸長を実感させ、学校生活の充実を図る。</li> <li>地域交流や校内外でのボランティア活動に対する広報活動を活発にし、参加していることへの自覚を深める。</li> </ul>	